

令和4年3月15日

独立行政法人

鉄道建設・運輸施設整備支援機構

理事長 河内 隆 様

事業評価監視委員会

委員長 家田 仁

神奈川東部方面線の再評価について（意見書）

1. 事業の継続の可否に関する意見

事業の進捗としては、トンネル・駅部の土木工事は概ね完了し、軌道・電気等の開業設備工事が進められていることや、事業の必要性についても、従前の再評価と比較して変わらないことから、事業の継続が妥当である。

2. 付帯意見

① 需要の動向の注視

新型コロナウイルス感染症等の影響により鉄道旅客は現時点では減少している。同時にテレワーク等の定着とともに東京一極集中の是正が進むことも想定されることから、引き続き、こうした状況を踏まえ、需要の動向を注視していくよう努められたい。

② シールドトンネル工事の安全性の向上

シールドトンネル工事による道路の陥没事故が発生した教訓を踏まえ、より適切な施工管理を行っていくとともに、事業や分野の垣根を越え広く情報共有を行うなど積極的な姿勢で、シールドトンネル工事の安全性の向上に努められたい。